

令和2年度 第2回新庄市子ども・子育て会議議事録

1 日 時

令和2年12月18日（金）午前10時～午前11時10分

2 場 所

市役所3階 議員協議会室

3 当日の参加者等

(1) 出席委員（10名）

笹原委員、高橋委員、金澤委員、成澤委員、阿部委員、
三原委員、齊藤委員、渡邊委員、梁瀬委員、菅委員

(2) 欠席委員（4名）

矢口委員、井上委員、川又委員、芦原委員

(3) 事務局（6名）

【学校教育課】高橋課長 【健康課】田宮課長

【子育て推進課】井上室長、佐藤室長、佐々木主査、加藤主査

（欠席：西田課長）

4 会議次第

1 会長あいさつ

2 協 議

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業について

資料1

(2) 新庄市公立保育所の今後のあり方について（ご意見聴取）

資料2

3 その他

議 事 録

事務局（井上空長）

皆様おはようございます。本日は大雪の中、またお忙しい中おいでいただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、これより第2回新庄市子ども・子育て会議を開催いたします。私、本日の進行をさせていただきます、子育て推進課井上と申します。よろしくお願ひいたします。

今年度第1回の会議はコロナ禍のため書面会議とさせていただきました。本日の会議は初顔合わせとなります。昨年度から委員をお願いしております皆様、今年度もよろしくお願ひいたします。今年度4月1日から新しく委員を委嘱しております委員の方をご紹介します。委員名簿3番の升形小学校高橋校長先生です。

高橋委員

高橋です。よろしくお願ひいたします。

事務局（室長）

高橋先生は、新庄市校長会幼児教育担当として委嘱しております。どうぞよろしくお願ひいたします。また、本日は委員名簿7番の井上委員、9番の川又委員、11番の芦原委員より欠席の連絡をいただいております。では次第に沿って進めさせていただきます。それでは、1会長あいさつ、笹原会長様よろしくお願ひいたします。

会長

皆さんおはようございます。昨日は大雪で早朝から雪かき、お昼、夕方と雪かきをして体も頭も回っていないかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

第5次の市の総合計画がHPに出ておまして、素案の段階から見て驚きましたのは、市の財政がかなり厳しいだろうという事。あと市の職員が抱える事業の多さ、職員の大変さが分かります。新たな施策をやりたくても中々出来ないのではと思いました。

本日は委員の皆さんには様々な意見を出していただきたいとお願ひして挨拶いたします。よろしくお願ひいたします。

事務局（室長）

ありがとうございました。それでは次第の3、協議に入りたいと思います。笹原会長様から議事の進行をお願ひいたします。

議長（会長）

はい。それでは進行させていただきます。よろしくお願ひいたします。

では、協議の（1）新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業について事務局から説

明をお願いします。

事務局（室長）

（（１）新型コロナウイルス感染症対策に係る各種事業について説明）

議長（会長）

ありがとうございました。ただ今の説明について何かご質問やご意見はございませんか。ないようですので、協議の（２）に移ります。（２）新庄市公立保育所の今後のあり方について事務局から説明をお願いします。

事務局（室長）

（（２）資料中、経緯等について説明）

事務局（主査）

（（２）資料中、内容について説明）

議長（会長）

それでは、委員の方々から様々なご意見を頂きたいとのことですので、お一人ずつお話しただきたいと思います。席順にご意見をいただければと思います。では〇〇委員からお願いします。

〇〇委員

はい、子育て会議で意見を言わせていただく事は大変ありがたいと思います。

私は私立幼稚園という立場から参加させていただいております。平成15年に私立幼稚園は最上地域には9施設ありました。今は5施設になります。来年度は1施設が休園または廃園という形をとると聞いています。その中で私立幼稚園として公立の園と相対する様な立場でやってきた訳ですが、平成27年の新制度からは、制度化する事によって県の管轄ではなく市の管轄となりました。昨年度の無償化以来、国庫で9割のお金は入るようになってから、私立の永続性とか経学の問題というのはどこに行ったのだろう、というのが正直な実態です。平成24年の三党合意以来、子育てというのをどういう形でやるのかと言えば、基本的には国庫が入る形で、子育て支援の名のもとに少子化を止めようという事ですが、止める事も出来ずに新庄もきているのだと思います。新制度以来、私の南保育園は平成28年度から民間立になりまして、幼稚園も民間立になってきています。公立の2園をどうするのか、という話だと思いますが、民間立が非常に頑張ってきたと思います。

また、今まで無認可という施設が平成30年度から認可になってきました。今現実に公立の2園をどうするのか、現実的な数値から見ますと、平成27年は出生数は350人位ですが、令和2年になって非常に驚きました。180人から200人。この5年で150人減っています。平成24年の三党合意の時は約400～450人です。この3年後の令和5年のデータはどうなるのだろうと思います。近くの尾花沢市ですと出生数は100を切っています。

近隣の町村を考えても30～40です。我々も最上地区という形で広域でやってきました。9施設ありましたが全部認可に変わっていく。私立幼稚園の立場から言いますと、1号の入

る子どもの令和3年度入所分を今受け付けている最中ですが、出生数が200とすれば2割で30位になると思います。就業率が80%と言っていますが、1号で入る方は2割しかいない。200とすれば40は1号になるので、もう幼稚園はいらなくなる位、ここ10年でほぼ1号の方はいなくなるのではと思われます。

このような中で公立保育園をどうするかという事を考えると、中部保育所を考えますと、市内には資料にあるようにこれだけ施設がありますが、新庄小学区に大きな受け入れ先の施設は中部しかないんです。ある人は新庄のエリートコースは中部だと言います。それだけ必要だと感じています。私の意見ですが、泉田の場合は、なぜ一貫校を作るとき、幼保小とカリキュラムが令和2年から変わったのに、なぜ0歳児を大切に考えていただけなかったのかなと思います。明倫の計画を見させていただくと、明倫もそうです。学区は越境になってなぜ、新庄で中部保育所の役割が一時支援だったり、病児だったり、中部に任せていいのかな、中部はそこで新小にあげてやる大規模なセンターだと思いますので、ぜひ考えていただきたいと思います。基本的に中部は、市が担当する園を持っていたかかないと、これだけ制度が変わった中で私立幼稚園の考え方、公立の園の考え方を把握して指導いただく中で市がひとつも持っていないのは問題になると思います。是非中部はやっていただきたいと思います。

しかし、これだけ25施設もあり、どこも定員割れをしており非常に大変な状況です。私立幼稚園、法人を閉じるのもとても大変です。25施設が手を取り合ってやっていくのは本当に大変ですので、是非お願いしたいのは、定員の見直しを1年とは言いませんが、2・3年ごとにやっていただきたい。定員や子どもの数から考えれば、公立の存続の意味はありますし、他の民間立をやっていくには定員の調整をきちんとやっていかないといけません。そのしわ寄せが子ども達にいきます。

最後に言いたいのは、私達がやっている今の感覚は保護者の感覚で「預ければいい」となっています。“保育の質”とよく言われますが、もう“保育の質”はないです。何を望んでいるかという保育の量、時間です。民間立をやっていくのであれば、定員の見直しを充分にやっていただきたいと思います。企業型も市は管理できませんが、そのあたりも充分に配慮していただきたいと思います。以上です。

議長（会長）

ありがとうございました。では次に〇〇委員をお願いします。

〇〇委員

はい。〇〇先生は私立幼稚園の立場からお話しされたのですが、この先保育園に訪れてくるだろうという背景や予測に基づいての提起だったと思います。

私は民間立の立場からですが、委員として2、3申し上げたいと思います。最初に質問したい事は、策定委員会の進捗状況をお聞きしたいと思います。整備計画がいつ頃まで出来てその見通しはどうなっているのかという2点についてお聞きします。

意見ですが、最も考慮すべきことは定員と場所だと思います。定員の事は〇〇先生からのお話しがあったように今後既存の施設が共存していくためには何名に設定するのか、という所が非常に重要になってくると思います。場所については、先ほど〇〇先生からは機能を集中させるのはどうか、と意見がありましたが、私は全く逆で機能は集中させた方がいいと思います。中心部にある保育施設に地域子育て支援センターや一時保育、病児等の機能を集中

させる事によって、“学区内の保育所”というよりは、“市全体の中核施設”というふうに位置付けた方がいいと思います。場所の選定でそういう場所があるかどうか別として、定員と場所について検討していただければと思います。以上です。

議長（会長）

委員からの質問について事務局からお願いします。

事務局（主査）

はい、計画についてですが、現在公立保育所の整備計画策定委員会を3回開催しております。現状としては決定事項はまだございませんが、データをお示しして検討している状況です。当初は今年度中の策定を予定しておりましたが、内容が大変難しい所もございますので、来年度中頃を目指して調整中となっております。

〇〇委員

整備計画の見通しはどんな状況ですか。

事務局（主査）

策定委員会でも来年度中と考えております。それまでの間に、今回子ども・子育て会議でご意見を頂戴した様に、改めて民間立の保育所、幼稚園、認定こども園、小規模さん全て集めた状態でお話しをお聞きしたり、最終的にパブリックコメントで市民の皆さんの意見を聞いて策定していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

〇〇委員

設立、改築について具体的に話はありますか。

事務局（主査）

はい、そちらについても計画の中で詰めていきたいと考えております。

〇〇委員

分かりました。

議長（会長）

はい、ありがとうございました。では続いて〇〇委員お願いします。

〇〇委員

私は指定管理をさせていただいております。保護者の立場からすると、やはり正直、保育料が一定や無しになった事からすると、職場に近い所、中心地に近い所から施設を選んでの方が非常に多いのではないかと思います。升形児童館の様に近くに会社がない、市内に通勤する方々の目から見ると施設は職場に近いのが魅力的なのではないかと思います。先生方の人数も20人とか、多くの子を預かっている事もあり、早くから遅くまで見て頂ける事は安心感がありすごく大事じゃないかと思います。保護者の方から見れば「時間をかけて見て

いただける」とか、「先生の数が多いい」とかそういう事は大切な事なんじゃないかと思えます。加えて、始めの所に書いてあるように、病気の子ども達の預け先という、そうした方々に手を差し伸べる場所であってほしいと思えます。私達の所は、小さい場所で祖父母がいる家庭環境で出来ないで、病気の子どもの手助け、障害を持っている子ども達に対しても出来るだけ、本当に目を離せないお子さんもいますので、受け皿として市内に持っていただければと思えます。以上です。

議長（会長）

私は孫を預かっていますが、朝から見ている状況で私達が出かける時、孫が病気になった時どうするかと考えると保護者にとっては切実な問題でもありますね。ありがとうございます。次に〇〇委員さんお願いします。

〇〇委員

はい、2点申し上げます。始めの所に書いてありました「特別な支援が必要な児童への対応」とあり、大変ありがたく感じました、市の校長会でも障がいを持つ子供の支援は早ければ早い方がいいだろうという意見がありますので、是非対応を充実させていただく様な保育所であってほしいなと思えます。2点目は、新庄の小学校の現状は分からないのですが、10月に発表された文科省の資料を見ますと、児童の暴力行為が随分増えて来ている実態があります。平成18年には4千件だった暴力行為が令和元年度の調査では4万4千件になっている。特に低学年の暴力行為の増加が顕著だという結果があります。もちろん、小学校で頑張らなくてはならない事も沢山ありますが、就学前の施設さんや家庭での対応で何か出来る事があれば、もしかしたらそこまでの増加は抑えられるのかなという思いもあります。拝見しますと、職員1人で3.5人から4人の子供を見ているとのことですが、多くの目でお子さんを保育いただく事で子どもの心の成長に結びつくのであれば、保育士の先生方の人数を増やした状態で保育いただければ小学校としてはありがたいと思えます。以上です。

議長（会長）

ありがとうございます。次に〇〇委員お願いします。

〇〇委員

はい、色々資料をありがとうございました。色々知る事が出来ました。資料1、2Pの上の3の市単独事業という事で放課後児童支援員への特別支援と書いてあるとおりで、その事でこの表（資料2 位置図）が参考になりますが、児童クラブの位置付けがどうなるのかと思えます。新庄学区のベビーホームに併設しているものですが、この度小学校に児童クラブが入るとの事ですが、そういった時でも児童さんが物心がついて自分の考えが持てるような年齢になった時に一対一で関わられるような児童クラブの役割は非常に重要になってくると思えます。ここに児童クラブが位置付けられるといいと思えます。先ほど〇〇先生からお話しがあったように、私達も認可外が全部認可になってという所に色々疑問もあるようですが、私達も認可外という仕事は苦しい毎日でした。やっと認可してもらいましたが、子供がこのように少なくなると数を維持していく事が大変だと思えます。この度中部の新設にあたって検討するようですが、中部はあってしかるべきであって、中部から

全体の保育が見えるような、私達が相談できるような形になれば、指導的な立場にあるといいなあとと思います。よろしくをお願いします。

議長（会長）

ありがとうございました。次に〇〇委員をお願いします。

〇〇委員

遅くなりました。新庄市の公立保育所の整備計画として網羅される沢山の課題があるかと思ひます。子育て支援センターと中部保育所と一緒にとか検討されると思ひますが、一緒になるとわざわざ足を運ばなくても相談しやすいという所があると思ひます。特別な支援が必要な児童という所では、一人一人個性があつて特徴がある中でそれに合つた環境を設定しなくてはいけない中で、中部にだけ求めるのは大変だと思ひます。そこは市内の色々な施設の中でそれぞれが一人一人見ていく、中部は指導的な立場に立つてやっていただくと皆が安心すると思ひます。中部保育所が置かれる立場は、保育所という立場と市全体の中心という立場ですとかなりボリュームがあり、大変さも多しと思ひます。保護者はありがたいと思ひますが、その中で病児・病後児も視野に入れているとしたら、手厚くみていただく事、一人一人を感染等からも守りながらやっていかなければならないかと思ひます。展開するにあつては、知恵と意見を集約しながらやっていただくよう期待します。保育所、幼稚園の方々の説明の際は是非声をかけていただき、お聞きしたいと思ひます。

議長（会長）

ありがとうございました。〇〇委員さんをお願いします。

〇〇委員

はい、私は保護者の立場からとなりますが、子供3人の上と下は新庄幼稚園に6年間通つていました。私は日中家の中にいたので、選んで行つたという事になります。幼稚園の魅力を感じていました。人数が少ない中でも先生が二人で見てくださり、働いている保護者さんの場合は、7時半から午後6時まで見てもらえる、また卒園してからも見てくれる、そういう魅力が沢山ありました。送迎までしてくれる、大変ありがたく思つて通つていました。時代の流れや人口減少、説明をお聞きし勉強させていただきました。真ん中の子は、「特別な支援が必要な子」に当てはまる子供ですが、人口が少ない地域でさらに減つていく中で、支援が必要な子は少なくて、それぞれ個々に対応していただくのは大変だと思ひますが、文章の中に入れていただいたのはありがたいと思ひます。人数が少ないと施設も少ないというのは分かつておりますが、困つている中受け入れてくれた「こんぺいとう」さんや〇〇委員さんの所もありがたかつたです。兄妹と一緒に入れたいとなつた時に個々に交渉しなくてはならないという事もありますので、一括した相談する所があつて、障害、特別な配慮が必要な子、病児、医療的ケア児が行ける体制があればありがたいと思ひます。

議長（会長）

ありがとうございました。他に委員の皆さんからありますか。事務局からはありますか。

事務局（室長）

はい、大変貴重はご意見をいただきまして、私達も勉強になりました。今後は、幼児教育、保育の事業主の皆様、市民の皆様、市議会の議員の皆様からのご意見を頂戴する機会を設けます。そのご意見を策定委員会の中で策定委員の皆様から検討していただき、素案になりますが、来年2月に開催します子ども・子育て会議の中でお示ししてご意見を頂戴したいと思います。それを重ねて整備計画を完成させていく予定でありますので、今後ともよろしくお願いたします。

議長（会長）

委員の方から他にございませんか。余談ですが、今の子供達は人生100年生きると言われています。孫は2歳ですが、100年生きるんだな、私とは全く違った100年を生きていくんだなと思います。教育の後は仕事をする時期が長くなる、そうすると幼児の時や小学校の時にどう育ったかというのが後々の人生に関わってくるのかなと思います。金澤先生のお話しにもありましたが、保育の質や家庭の余裕がない中で行政や地域がどうやっていくとこれから100年生きる子ども達の基盤をどうやって作っていくのかなと思います。

10年ほど前に県の振興計画の中学校の代表委員として参加しました。幼稚園の県の代表の方が同じ事を言っています。朝早くから夜遅くまで預けて家は寝に帰る場所です。中々親御さんが余裕がない中で、子供がよく育つように園や様々な方々がよくしてくださっている中で、100年生きる子ども達をどうやって新庄市で育てていくかと言う事を是非計画でも検討いただきたいと思います。つたない進行でしたが、ご協力ありがとうございました。

事務局（室長）

会長様、議事進行ありがとうございました。それでは次に3その他 委員の皆様から何かございましたらお願いします。ないようですので、事務局から連絡事項をお伝えします。

事務局（室長）

- ・報酬の振り込みについて（12月25日）
- ・第3回子ども・子育て会議は令和3年2月末を予定

事務局（室長）

これをもちまして令和2年度第2回新庄市子ども・子育て会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。